



清風

南砺市立上平小学校
学校だより
令和元年9月
上平小学校ホームページ
<http://kamitaira-e.el.tym.ed.jp>

「愛情」という名のジュース

教頭 高田 篤志

今年度1回目の学校評価を保護者の方々にしていただきました。25項目中21項目は、80%以上の高評価をいただきましたが、①「家庭学習の習慣化」②「自分に対する自信」③「規律ある生活習慣」④「ゲーム、SNSの約束時間を守る」の4項目については、目標の80%を切る結果となりました。

これらについて、学校では各学年や全校で多様な取組を進めていますが、各ご家庭や地域での働きかけも重要な項目ばかりです。特に、②の「自分のことを受け入れられる、自分にはよいところがあると言える」といった自己肯定感を育てることは、今後の厳しい時代を力強く生き抜く上で大切なことであると考えています。(当然謙虚さはもちつつも…)

担任をしていた頃、普段の自分を見直すため、年に1回は石川県で幼稚園園長をしておられた西村倭子先生の講演会に出向くようにしていました。先生ご自身は3歳のときに母親を亡くされましたが、それ故に幼少期の温かい親の接し方の重要性を諭すように話されます。まずはありのままの姿を温かく受け入れること、子供の話にきちんと耳を傾けること、共に活動し、できることを増やすこと、わずかの伸びにも感動し認めること、できることは任せて喜びや感謝を伝えること等の重要性を、園でのエピソードを交えながら楽しく教えていただくことができました。

「子育ては、ぎゅーっと抱きしめて喜ぶ歳までが勝負です！それまでに心のコップに愛情という名のジュースをたっぷり注いでください。それに満足すれば、子供は自然に自立(自律)していきます。」

これらの言葉一つ一つが、今も教員生活や子供の見方の指針になっています。

前段に掲げた課題はすべて、子供たちが喜ぶこの「愛情のジュース」で少しずつ解決していくように思うのです。



体力づくりでも自己決定の場を

体育主任 宮田 佳奈

毎年行っている「新体力テスト」では、8種目の運動能力を測定します。今年度は、県から配布されている記録用紙に、昨年度の記録と今年度の目標数値を書き込む欄を書き加え活用しました。20mシャトルランに苦手意識をもつAさんは、昨年度41回だったので、今年度の目当てを昨年度よりも多い45回と設定しました。測定の結果は48回。目当てを上回る記録を出すことができました。測定を振り返りAさんは「苦しかったけれど目当てに向けてがんばった。目当てが達成できてうれしい。」と話してくれました。記録が上がったことはもちろん、ここでは目当てに向かってやり抜いた強い心に称賛の価値があると思うのです。

このように、自己決定することは子供たちの心や体をたくましく成長することにつながるでしょう。今後も、子供たちが様々な運動を経験し、運動に親しみながら身体能力を高められるように、自己決定の場を効果的に取り入れていきたいと考えています。